

雨活二百年プロジェクト

宮崎学園中学校 三年 徳永 万琳

「雨磁石!？」

四次元ポケットから取り出された「ひみつ道具」はとても素敵なものだ。雨を降らせたいところに降らせることができるだけでなく、雨の強さや時間まで調査できる。この道具があれば、今まで世界に降りかかっていた様々な問題が解決できる。飢餓に苦しむ人もたくさん救えるだろう。そして、災害で命を落とす人も減るだろう。

宮崎学園中学・高等学校

「ありがとう、ドラえもん。私はこの「雨磁石」を大切に使うね。そして、たくさん人の役に立てるようがんばるよ。」
うれしくて、お礼を言ったが、その声は目覚まし時計の音にかき消されてしまった。夢だ。なんだ。。

この頃ずっと毎日、雨の活用方法について考えていた。「雨磁石」は私のアイデアだ。自由に雲をひきつけ、雨を降らせることがで

書き出しは「マスあける」。
改行の場合も同じく、書き出しは「マスあける」。
「。」などの符号は原則として一つのマスに入れる。

き山は、どんなにいいだろう。しかし、自然
 の摂理に反することは、たとえ科学の力を結
 集して実現できたとしても、地球全体のバラ
 ンスを崩すようでは本当に必要なものとはい
 えない。実際には不可能である。だからこそ、
 私たちは、自然現象である「雨」に感謝し、
 その恵みを上手に活かして、生活しなければな
 らない。そして、その「雨」は時にはとても
 恐ろしい顔を見せる。その時に備えて、万全
 の準備をしておかぬばならない。

宮崎学園中学・高等学校

そこで、私の住む都市では、雨水はどの
 ように使われているのかを調べてみた。家庭
 や道路に流れた雨水は、専用の下水道管を通
 り川へ放流されている。都会では、下水道管
 で集めた雨水を貯水槽にためて利用している
 ところもあるようだ。私のまちでは、水道
 水を全て地下水でまかなえるほど水に恵まれ
 ているため、有効活用はしていない。だが今
 後、地下に貯水槽を設置し、水力発電をする
 など、考えられるのではなにか。

書き出しは一マスあける。

改行の場合も同じく、書き出しは一マスあける。

、。」「などの符号は原則として一つのマスに入れる。

よく調べていくと、私たちが今飲んで
水道水は、約二百年前の雨水が地下に深く浸
透し、それを汲み上げているものだとい
とがわかった。私たちの祖先は、この地下水
を守るために保水力の高い広葉樹の森を守り
続けてきたのだ。広葉樹の森は、天然のダム
の役割を果たしていた。

私は、幼い頃からどんぐりの森をつくる活
動をしている。今回、雨水活用について調べ
私は、どんぐりの木を植えることの大切さを

宮崎学園中学・高等学校

あらためて知った。森は雨水をため込み、
くりと地下へ浸透させ、湧水として水を再び
地上へ押し上げる。雨と森がコラボすること
で、浄水器の役割を果たしている。だから、
私が木を植えることは、二百年後の未来の人
たちへ「おいしい飲料水」を贈ることにつな
がる。そう考えると、この活動は雨水活用の
一番大切なことと言えるかもしれない。あ
なに雨水活用について考えたのに、私はす
に実行していたのだ。私は誓いたい。これが

書き出しは一マスあける。

改行の場合も同じく、書き出しは一マスあける。

、。』などの符号は原則として一つのマスに入れる。

らもどんぐりの苗を一本一本ていねいに植え
続けていこう。私たちの未来の子孫のために。

宮崎学園中学・高等学校

書き出しは二マスあける。
改行の場合も同じく、書き出しは二マスあける。
、。』などの符号は原則として一つのマスに入れる。